

佐賀県感染症発生動向調査速報

平成16年第22週 平成16年5月24日(月)～平成16年5月30日(日)

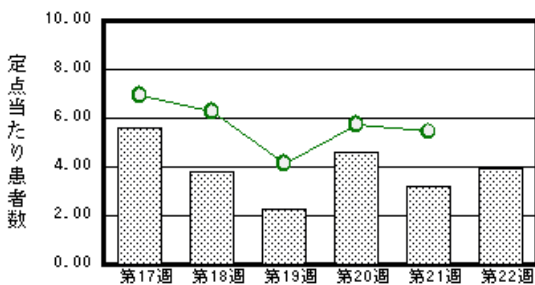
<http://www.kansen.pref.saga.jp>

佐賀県感染症情報センター

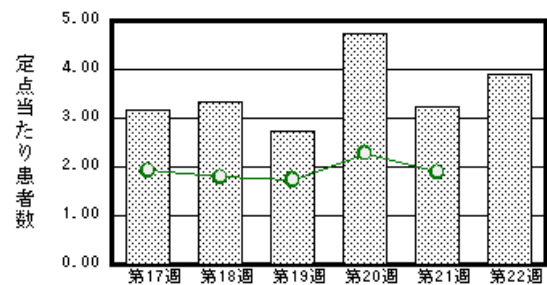
注目疾患の動向

- 1 **【報告数の多い疾患】** 感染性胃腸炎(90名)、水痘(90名)、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(43名)、流行性耳下腺炎(37名)、突発性発しん(24名)
- 2 **【咽頭結膜熱】**患者報告数は減少しました(22名、19名)。過去5年間に比較して患者報告数が多くなっています。全国的に同様の傾向です。病原体定点から提供された4検体(5/20～5/24採取)よりアデノウイルス3型が検出されました。これから流行時期になりますのでついでに、手洗いや水泳後のシャワー励行等、感染予防に努めましょう。
- 3 **【風しん】**全国的に、過去5年間に比較して患者報告数が多くなっています。免疫のない女性が妊娠初期に風しんに感染すると、出生児に先天性風しん症候群を発生することがあります。免疫のない方は男女とも予防接種を受けましょう。

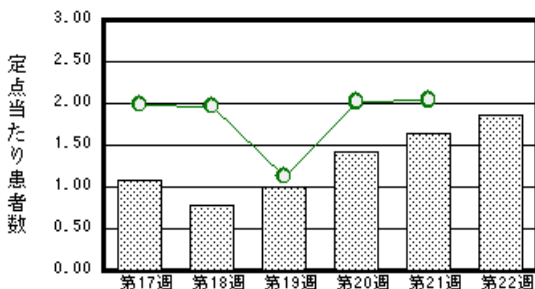
感染性胃腸炎



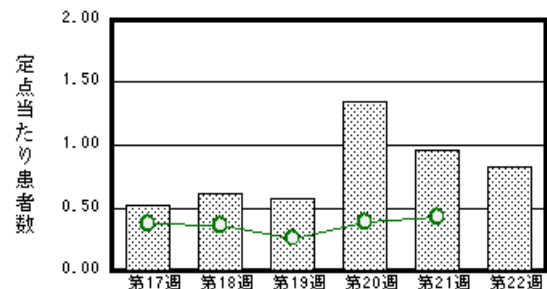
水痘



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



咽頭結膜熱



棒グラフは佐賀県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては佐賀県感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.kansen.pref.saga.jp>

全国版感染症週報 (DWR) 2004年第20週号 (5月10日～5月16日) 要点

・ 発生動向総覧	<20週> 咽頭結膜熱・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎・風しん - 定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比べてかなり多い / その他最新動向 <4月> 性感染症 薬剤耐性菌感染症 結核について
・ 注目すべき感染症	<風しんおよび先天性風しん症候群> 社会全体での風しんそのものを抑制することが必要であり、小児から成人まで、男女とも免疫のない人々は定期接種、任意接種を受けることが強く望まれる
・ 病原体情報	ヒトから検出されたVero毒素産生性大腸菌 2004年 / 無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス2004年 / インフルエンザウイルス2004年第17週(4/19～)以降
・ 速報	<通知> 平成16年度インフルエンザHAワクチン製造株の決定について / 集団かぜからのB型インフルエンザウイルスの分離 - 名古屋市 / 福岡市における風しんの流行状況とその対策
・ 海外感染症情報	スーダン南部でのエボラ出血熱流行 / 中国でのSARS流行 - 更新7
・ 感染症の話	<今週はお休みです>

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

佐賀県感染症発生動向調査速報

http://www.kansen.pref.saga.jp

佐賀県感染症情報センター

全数届出の感染症 (佐賀県)

疾病名	クロイツフェルト・ヤコブ病 (五類感染症)	
患者	1名 (70歳代・女性)	
平成16年届出累計	1名	
平成15年	同 期	0名
	届出累計	1名

クロイツフェルト・ヤコブ病については、国立感染症情報センター「感染症の話」をご覧ください。

http://idsc.nih.go.jp/kansen/k02_g1/k02_24/k02_24.html

佐賀県感染症発生動向調査

定点報告 :五類感染症 (週報分)

平成16年第22週

平成16年5月24日 (月)~平成16年5月30日 (日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	佐賀中部 保健所	鳥栖 保健所	唐津 保健所	伊万里 保健所	杵藤 保健所	計	前週	全国 (第21週)
インフルエンザ (39)	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)								238 0.05
小児科 (23)	RSウイルス 感染症								15
	咽頭結膜熱			2 0.50	16 5.33	1 0.20	19 0.83	22 0.96	1296 0.43
	A群溶血性レン サ球菌咽頭炎	12 1.50	22 7.33	1 0.25	3 1.00	5 1.00	43 1.87	38 1.65	6192 2.04
	感染性胃腸炎	36 4.50	34 11.33	8 2.00	5 1.67	7 1.40	90 3.91	74 3.22	16558 5.44
	水痘	20 2.50	13 4.33	32 8.00	7 2.33	18 3.60	90 3.91	74 3.22	5742 1.89
	手足口病	2 0.25	11 3.67				13 0.57	6 0.26	639 0.21
	伝染性紅斑							3 0.13	1671 0.55
	突発性発しん	5 0.63	6 2.00	7 1.75	1 0.33	5 1.00	24 1.04	26 1.13	2360 0.78
	百日咳								55 0.02
	風しん								220 0.07
	ヘルパンギーナ	1 0.13	2 0.67				3 0.60	6 0.26	1782 0.59
	麻しん (成人 麻しんを除く)								68 0.02
流行性耳下腺炎	7 0.88	4 1.33	22 5.50			4 0.80	37 1.61	2484 0.82	
眼科 (4)	急性出血性結膜炎								11 0.02
	流行性角結膜炎								545 0.86
基幹 (6)	細菌性髄膜炎								9 0.02
	無菌性髄膜炎								11 0.02
	マイコプラズマ肺炎		1 1.00				1 0.17		104 0.22
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)								7 0.01
	成人麻しん								

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点。

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は20週分(患者報告数)である。

佐賀県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症)

平成16年第22週 平成16年5月24日(月)~平成16年5月30日(日)

インフルエンザ 定点	インフル エンザ (高病原 性鳥イン フルエン ザを除く)	小児科 定点	RSウ イルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルパ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプ ラズマ肺 炎	クラミジア 肺炎(オ ウム病を 除く)	成人麻し ん
6ヶ月未満		6ヶ月未満		1			4			6						6ヶ月未満							
12ヶ月未満		12ヶ月未満		2	1	1	10			13						12ヶ月未満							
1歳		1歳		2		13	25	4		5			1		3	1歳							
2歳		2歳		5	3	14	20	2					3		5	2歳							
3歳		3歳		2	2	10	11	3							7	3歳							
4歳		4歳		3	3	14	11	2					1		4	4歳							
5歳		5歳		1	9	6	2	1					1		7	5歳							
6歳		6歳		2	4	7	4	1							2	6歳							
7歳		7歳			2	8	2								3	7歳							
8歳		8歳		1	7	4									1	8歳							
9歳		9歳			2	1									1	9歳							
10歳~14歳		10歳~14歳			4	9	1								3	10歳~14歳							
15歳~19歳		15歳~19歳			2	2									1	15歳~19歳					1		
20歳~29歳		20歳以上			4	1										20歳~29歳							
30歳~39歳																30歳~39歳							
40歳~49歳																40歳~49歳							
50歳~59歳																50歳~59歳							
60歳~69歳																60歳~69歳							
70歳~79歳																70歳以上							
80歳以上																							
合計		合計		19	43	90	90	13		24			6		37	合計					1		
前期計		前期計		22	38	74	74	6	3	26			6		25	前期計							
当期間/前	***	当期間/前	***	0.86	1.13	1.22	1.22	2.17		0.92	***	***	1	***	1.48	当期間/前	***	***	***	***	***	***	***
増減数		増減数		-3	5	16	16	7	-3	-2					12	増減数					1		

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき

